

スタンプラリー in 日野宿 2024（第 111 弾）

令和 6(2024)5 月 11 日（土）「スタンプラリー in 日野宿 2024」（第 111 弾）を開催しました。

天候にも恵まれ、スタンプ帳は 479 冊（一昨年は 475 冊）を購入していただきました。

内訳は日野駅が 364 冊、甲州街道駅が 115 冊でした。小さなお子さん連れの姿がまちかどに目立ち楽しいひとときを味わっていただけたようです。

なお桑園のポイントではヘリテージのメンバーによる通称「桑ハウス」の特別公開と日野高職員 OB による写真展も同時開催されました。

ゴールの日野宿本陣では、10 か所以上のポイントを回っていただいた方に、大型スタンプの柄をあしらった 20 種類の缶バッジのなかからひとつを景品としてお渡しました。なお、そば処「ちばい」から提供していただいた近藤勇の特製コースター（?）を特別景品としてゲットした幸運な方もいたようです。

今回も実に多くの皆様のご協力をいただきました。あいにく中間試験を控えて中学生の参加がありませんでしたが、代わりに日野高校の生徒さんたちと先生方の強力なご支援があったことをお伝えしたいと思います。海外からの留学生、大学生、老人会、自治会、企業内のグループ、個人のボランティアの方々、ご協力いただいた総勢 110 名の皆さんに心から御礼申し上げます。



スタート地点の日野駅東



日野駅東

日野第一中学校生有志と用水清掃（番外編）

同年7月12日（木）午後1時半から日野一中生と恒例の用水清掃に取り組みました。

直前に通り雨があったものの、開催時間になると雨もあがり、早速、ボランティア部や野球部などの生徒たち50名近くと日野宿発見隊メンバー6名、さらに先生も2名参加していただき、校庭西側を流れる用水と正門前の道路を挟んで流れる用水の清掃を実施しました。

1時間半弱の清掃でしたが、毎年取り組んでいる効果でしょうか、空き缶などのゴミはだいぶ減ってきているように思えました。それでも水草などがかなりあり、今年も40袋ほどの収穫（?）となりました。

梅雨明けもまだだといのうに異常な暑さが続き開催が危ぶまれましたが、当日は何とか作業できる天候となりありがたかったです。今年も生徒たちが熱心に取り組んでくれ、日野のお宝「日野用水」への思いを共有できたのではないのでしょうか。

こうしてきれいになった用水を鯉や小魚が気もしよさそうに泳ぐ姿をみて、うっとうしいこの季節にしばしの涼をえた思いです。皆さんお疲れさまでした。



夏休み！親子で調べよう日野用水（112 弾）

同年7月20日（土）の午前中、新東光寺地区センター前の日野用水で第22回日野宿子ども発見隊「夏休み！親子で調べよう日野用水」を開催しました。

連日の酷暑で、数年前の開催断念の記憶が過りましたが、幸運にも何とか無事開催できたことにまず感謝したいと思います。

参加者は、児童が9名、保護者が8名、日野宿発見隊メンバーが8名、事務局が3名、計28名でした。

受付を済ませた子どもたちを待っていたのは、井上カメラマンが自宅で飼っているというクサガメの「タタ」でした。年齢は家に来てからもう25年くらい、大きさは長さが1.7倍くらいになっているので、40年は生きているのではということです。「タタ」を持たせてもらってその重さを感じたり、ひっくり返った状態からどうやって起き上がるのかを観察したりと、始まる前の楽しいふれあいショーとなりました。

9時半からの受付時にはもうかなり暑くなっていしまい、オリエンテーションは藤棚の下で行いました。



オリエンテーションが済んで、いよいよ井上班、清水班の２班に分かれて早速用水のなかに入り親子で思い思いに生き物探しにかかりました。

最初に男の子が捕まえたのがカワムツでした。お母さんといっしょに参加してくれた彼はかなりの生き物通らしく「これ、カワムツだよ」とこともなげに魚の名前を口にしました。水嵩が少なくなかなか生き物がみつからず苦戦はしたものの、１時間弱取り組んだあと桜の木陰の下に集まり、捕まえた魚たちを水槽に移して、次は井上さんから捕った生き物についてのレクチャーに入りました。

説明中も好奇心旺盛の子どもたちからいろいろ質問が飛び交い、そばで聞いている保護者の皆さんたちにも笑顔が浮かんでいました。

今回捕まえた用水の生き物は

カワムツ ・ カマツカ ・ オイカワ ・ ブラックバス ・ ザリガニ ・ ヤゴ ・ ヌマエビ ・
ハグロトンボ

井上さんのレクチャーのあとは、地区センターに入り冷たいキャンディーを食べてしばらく涼をとりました。

このあと、日野図書館（事務局）職員からザリガニの本の読み聞かせと用水の生き物に関する本の紹介がありましたが、子どもたちの反応のよさに読み手の職員も大変喜んでいました。なお、お土産は缶バッジでした。

日野のお宝である日野用水を子どもたちと一緒に遊んで学ぼうと、平成 19(2007)年 8 月 4 日（土）に初めて開催して以来、17 年が経ちましたが、確かにとれる魚などの生き物の数がかかり減ってきているように感じます。

また、用水前の田んぼは数年前から作られていません。最初のころは青々と育った稲田の畦道に入らせてもらい、そこでも小魚を取ることができましたが、今はそれも懐かしい思い出のひとつになってしまいました。

とはいうものの、こうして今年も日野用水で生き物観察が実施できたのも、日野用水を私たち日野市民のお宝として守ろうとする多くの人たちの支えがあるからに違いありません。どうかこの子どもたちが成長し次の世代になってもこのお宝を大事にしていてもらいたいですね。

参加した皆さん、スタッフの皆さん、暑い中本当にお疲れさまでした。

日野宿 秋の灯（ひ）（第113弾）

日野宿発見隊では、令和3(2021)年より毎年12月に「行灯（あんどん）をつくろう」と題して親子で行灯づくりに挑戦してきましたが、今年度は八坂神社の祭りにあわせ、同年9月10日(火)から9月16日(月)まで、事前に応募していただいたイラストを手作りの木枠に貼った行灯20基ほどを日野図書館前に飾りました。秋の夕べに仄かな行灯の灯を楽しんでいただきました。



第 17 回八坂の祭り写真展（第 114 弾）

同年 9 月 2 日（月）から 30 日（月）まで、令和 5(2023)年までの八坂神社の祭りの写真を八坂神社の玉垣に 25 点、南側フェンスに 30 点、森町消防器具置場壁面に 15 点、竹間家駐車場フェンスに 5 点 計 75 点を展示させていただきました。。



八坂神社玉垣



八坂神社南側フェンス



森町消防器具置場壁面



竹間家駐車場フェンス

出水操作品展（第 115 弾）

同年 11 月 9 日(土)、10 日(日)の両日、仲田の森桑糸公園内の旧農林省蚕糸試験場日野桑園第一蚕室（通称「桑ハウス」）で「出水操作品展」を開催しました。

天気にも恵まれ、出水先生のご息ご家族をはじめ、教え子の皆さんたち、また同時開催されていた産業まつりに来られた皆さんなど、2 日間で 787 名(9 日：320 名、10 日：467 名)という大変多くの皆さんに出水先生の絵画をご覧いただきました。



高幡不動尊所蔵「七生の四季」(襖絵)

国有形文化財に指定された桑ハウスは展示された絵画にとってもマッチした素敵な空間となりました。

「こんなにたくさん日野の懐かしい風景を描き残して下さった方がいらしたんですね」と感想を述べられた方がいましたが、企画から開催準備と進めてきた日野宿発見隊のメンバー自身も驚きの連続でした。

今回は日野宿の桑ハウスでの開催でしたが、来場された旧七生地区の皆さんから、是非地元で開催をとのご要望もいただきました。うれしい限りです。

最後になりますが、この度の「出水操作品展」開催にあたり、ご理解ご支援をいただきましたご子息をはじめ、先生の絵画を快くお貸しいただきました高幡不動尊、薬王寺、日野市、また個人蔵の皆さん、この度は誠にありがとうございました。この場をお借りして御礼申し上げます。

【追記】12日（月）、9時半から後片付け作業にとりかかろうとしたところ、ひとりの年配の男性が見えられました。お話を伺うと、昨日までの開催と知らなかった由、昭和14年の生まれで、七生中時代の出水先生の教え子一期生とのことでした。ひととおり作品をご覧になられて大変喜ばれていました。

「ひのっ子日野宿発見」をリニューアル

同年5月1日（水）、日野宿発見隊HP内の「ひのっ子日野宿発見」をリニューアルしました。

このサイトは、平成23(2011)年1月末、独立行政法人国立青少年教育振興機構による「平成22年度地域ぐるみの子ども読書 活動推進事業」の委託を受け、地域の小学校、中学校、PTA、商店会など多くの方々のご協力を得て刊行した絵本『ひのっ子日野宿発見』の電子版です。

それぞれの頁には、もっとよく知りたいと思った子どもたちのために、より詳しい情報が掲載されています。子どもたちが育むわが日野宿に親しんでもらう一助となれば幸いです。

なお、「日野宿こぼれ話」のサイトには、『ひのっ子日野宿発見』の18項目に収まらない日野宿のこぼれ話を紹介しています。少々マニアックなところもありますが、一般の方にもお読みいただける内容ですので是非ご活用ください。